

# 寄付でまちづくりを応援してください！

町の約9割を占める山林。  
この豊かな森林を眠らせておくのは「もったいない」  
森林を守り育てていくことと、新エネルギーの導入を進めて「くずまき」らしい持続可能な循環型林業を構築できないだろうか―。  
このような発想から町は平成17年度にふるさとづくり基金を創設。全国から寄付金を募集し、平成21年度で合計金額は、680万5千円に達しました。  
皆さんからいただいた寄付は、伐採した山林への再造林や公共施設へのペレットストーブの設置などに活用されています。  
自立の町を目指す「くずまき」を応援して下さる全国の皆さん、ふるさとづくり基金へのご協力をお願いします。(寄付の方法は、町のホームページをご覧ください。)

## ふるさとづくり 基金

ご寄付ありがとうございます  
4年間で680万5千円に

### 寄付の状況 ●年度別

	18年度		19年度		20年度		21年度		合計	
	寄付額 円	件数	寄付額 円	件数	寄付額 円	件数	寄付額 円	件数	寄付額 円	件数
森林の保全と資源循環に関する事業	1,665,000	72	540,000	31	405,000	22	215,000	10	2,825,000	135
新エネルギー導入に関する事業	780,000	38	335,000	23	215,000	12	125,000	5	1,455,000	78
指定なし	275,000	9	2,055,000	7	80,000	1	115,000	3	2,525,000	20
寄付額合計	2,720,000	119	2,930,000	61	700,000	35	455,000	18	6,805,000	233
運用益	1,042	—	5,287	—	6,621	—	2,873	—	15,823	—
基金取り崩し	0	—	1,600,000	—	1,300,000	—	1,300,000	—	4,200,000	—
基金残高									2,620,823	—

**町** 植樹祭は五月十五日、グリーンテージ北側に東京都の株式会社 永和が開設している企業の森「えいわの森」で開催されました。この活動は、貴重な財産である森林と環境を大切に育むことを目的として開催され、今年で十一回目になります。

「くずまき高原環境の森づくり事業」として行われた植樹祭には、葛巻地区森林愛護少年団（小屋瀬）、町内の全小学校や企業の森の関係者、一般町民など町内外から約三百四十人が参加し、コナラ（県企業局寄贈）とサクラ（イカリ環境事業グループ寄贈）の苗木約三百五十本を植えました。

植樹祭に参加した五日市小学校の佐々木真子さん（六年）は、「くわで土を掘るのは難しかったですけど、だんだん楽しくなってきました。早く大きく育ってほしいです」と願いを込めました。

植樹祭に先立ち、町、町森林組合、そして今回新たに企業の森を開設した葉樹株式会社（本社神奈川県、小森雄太代表取締役）の三者が協定を結びました。県内における企業の森の協定締結数は十社、総面積は約三百畝。うち当町の協定数は五社、面積が約二百九十畝です。このことから当町が県内をリードし、企業と共同した森林づくりを先導的に実施していることがうかがえます。



## ～豊かな森林を守り、未来へ伝えよう～ 第11回町植樹祭

緑豊かな森林は、木材の生産のほか地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収、水源涵養や憩いの場の提供など、私たちの生活に欠かすことのできない働きを担っています。  
この貴重な財産である森林と環境を大切に未来へ伝えるため、さまざまな取り組みが行われています。



### 宮崎で口蹄疫の感染が 拡大しています

四月に宮崎県で発生した口蹄疫は、発生から一カ月以上経過した現在でも感染が拡大しています。酪農を基幹産業とする当町で発生した場合の損害は計り知れません。

町は、関係機関や団体と連携して県内初となる「口蹄疫対策会議」を設置し、緊急に対策を講じることにしました。畜産関係者はもとより、町民みなで次のことに注意しましょう。

①農場への出入り時には、車両、靴などを消毒しましょう。

②発生国（地域）への旅行は、できるだけ自粛しましょう。

③異常を発見したらすぐに家畜保健衛生所（☎019-68814111）などへ連絡してください。